

日本工学会科学技術人材育成コンソーシアム
平成 26 年度第 3 回幹事会 議事録

日 時 2014 年 11 月 7 日 (月) 13 時 05 分～14 時 50 分
場 所 東京理科大学森戸記念館 2 階第 3 会議室 (東京都新宿区神楽坂 4-2-2)
出 席 (敬称略)
代 表 : 有信睦弘
副 代 表 : 松瀬貢規、依田照彦
部会主査 : 廣瀬壮一 (部会 1)、西方正司 (部会 2)、松村暢彦 (部会 3) ,
佐藤勲 (部会 4)
幹 事 : 渥美純一, 大山幸二, 吉田孝一, 村松俊樹
オブザーバー : 大橋一民
事 務 局 : 島田敏男

欠 席 (敬称略)
幹 事 : 松井幹彦、青島泰之、石村和男、玖野峰也
オブザーバー : 小森和弘、野口宏一、大槻肇

配布資料 :

- 000 平成 26 年度第 3 回幹事会 議案
- 001 科学技術人材育成コンソーシアム構成表(兼出席者)
- 002 平成 26 年度第 2 回幹事会 議事録(案)
- 003 公開シンポジウム実施計画
- 004 部会活動進捗状況 部会 2 (教育支援)
- 005 科学技術人材育成コンソーシアム H26 事業計画案・H25 事業報告(中間報告)
(H26.1.20 理事会資料)

議事概要

1. 平成 26 年度第 2 回幹事会 議事録確認

資料 002 に基づき、前回幹事会議事録を確認した。

2. 平成 26 年度シンポジウム実施計画の策定

資料 003 に基づき、第 6 回科学技術人材育成シンポジウムについて検討した。その結果、以下の結論を得た。また、11 月中旬までに関係部署へ提出する計画書を作成することとした。

シンポジウムテーマ : 科学技術コミュニケーションがいかに関係しているかを議論する場とするため、テーマを「科学技術コミュニケーションの展開と人材育成」とすることとした。

シンポジウムの構成 :

開会挨拶 (有信睦弘コンソーシアム代表)

基調講演(40 分)

講演 4 件, 各 20 分

パネルディスカッション 90 分

(講演の質疑を含む, パネラーは基調講演者と講演者の 5 名)

閉会挨拶 (松瀬副代表)

基調講演 : 部会 3 松村主査より 4 名の候補者に対して順に都合を問い合わせることとした。

(その結果, 東京大学大学院理学系研究科准教授横山広美様に基調講演をお願いすることとなった.)

講演: 以下を講演候補者とし, それぞれ担当から都合を問い合わせることとなった.

実態報告: 「研究者による科学コミュニケーション活動に関するアンケート調査報告書」について JST より講演者を選出していただく. (担当: JST 大槻様)

政策関係: NISTEP 総務研究官 齋藤尚樹 様 (担当: JST 大槻様)

実践例: 早稲田大学理工学術院教授小峯秀雄 様 (担当: 依田副代表)

世論・マスコミ: フリージャーナリスト 五十嵐道子様 (担当: JST 大槻様)

司会進行: 総合司会は松村部会 3 主査, パネルディスカッション司会は依田副代表.

3. 各部会事業報告

資料 004 に基づき, 部会 2 西方主査よりコンソーシアム加盟学協会宛への「教育現場の求める理科教育支援に関する協力依頼」の提案がなされた. 依頼文を検討した結果, 本コンソーシアムが成し得る支援項目などを追加修正した上で発送することとした. 依頼文の文面については追ってメールにて確認をする. これに関連して 8 月に実施したパネルディスカッションの DVD を YouTube にアップロードし, それをコンソーシアムの web ページからリンクすることとした.

部会 1 廣瀬主査より, 日本工学会会員の学協会に対して再度情報提供の依頼を行なって情報を収集する予定である旨の報告があった. 部会 4 佐藤主査より, 様々な学協会, 大学, 企業において行われている人材育成活動を横並びにして議論をし, 整理統合する必要があるのではという問題提起がなされ, 意見交換を行った. その結果, 佐藤主査に議論のための案を作成していただくこととなった.

4. その他

(1) 資料 005 に基づき, 事務局より, 科学技術人材育成コンソーシアム平成 27 年度事業計画(案)及び平成 26 年度事業報告の作成依頼があった. 作成手順を以下の通りとする.

11 月末までに, 代表・副代表及び部会主査より担当部分の草案を事務局に提出.

12 月 15 日までに, 事務局が取りまとめた案についてメール審議.

12 月末までに, 意見を取り入れて, 最終案を作成. 1 月理事会へ提出.

(2) 次回開催について

次回幹事会を 2015 年 1 月 13 日 13:00~14:30 に開催する.

以上.

(文責: 廣瀬壮一)